

利用成果報告書

- 1 課題番号 R6-024
- 2 報告者 工藤 洋太郎 東京大学医学部附属病院
- 3 利用区分 成果公開有償利用
- 4 利用課題名 超遠心機をもちいて抽出したリソソーム画分の解析
- 5 使用装置名 多機能超遠心機
- 6 利用期間 令和7年1月10日 ～ 令和7年1月28日
- 7 利用成果・実績の概要 多機能超遠心機を用いて肝細胞のリソソーム画分を抽出し、イムノブロット法によるタンパク質の検出を行った。従来、細胞膜に存在すると考えられていた輸送体タンパク質が、リソソーム画分からも検出された。この結果は、免疫染色法による解析結果とも一致していた。これを踏まえ、現在は同分子とリソソームに局在する分子との相互作用について、さらなる検討を進めている。
- 8 社会・経済への波及効果 注目している膜タンパク分子による脂肪肝の病態制御メカニズムの理解により、未だ治療薬の確立していない脂肪性肝疾患の治療法開発につながる事が期待される。
- 9 学会等における口頭・ポスター発表 該当無し
- 10 学会誌・雑誌等における論文掲載 該当無し